



香 風



令和 7 年
8 月 2 6 日 第 6 号
編集責任
校 長 古川 志乃

[南中学校 学校教育目標]

「郷土を愛し、確かな学力を身につけ、未来を切り拓こうとする子どもの育成」

[中期的な教育目標]

- ① 一人ひとりが主体性をもち、学び合い高め合う生徒の育成
- ② 自他を尊重し、仲間と共に粘り強く取り組む生徒の育成

[本年度の重点目標]：

「なかまのことを考え、支え合う集団をめざし行動する生徒の育成」→「考動」



Back to School !! How's this summer ?



夏休みが終了し、授業が再開しました。ゆったりリラックスする時間をつくるとともに、自分自身の可能性を伸ばす夏にしてほしいと、夏休み前に話していましたが、どのような夏を過ごせたでしょうか。

お盆過ぎのある日、実家の前でランニングしている3年生にばったり出会い、尋ねると、「部活動が休みの間も駅伝大会に向けて自主練習を続けています。」と答えてくれました。白熱する甲子園の高校球児たちに感動をもらっている日々であっただけに、南中生徒も、自分の目標達成のためにこつこつと努力していることに胸が熱くなりました。

夏休み中の部活動では、県大会に出場して果敢に自分の可能性に挑戦したり、引退した3年生の思いを引き継ぎ、猛暑に負けず日々の練習に頑張ったりしていました。部活動以外にも、夏休み始めの学習会に積極的に参加したり、中学生平和学習事業やイングリッシュキャンプに参加したり、さらには、自分が所属しているクラブチームや団体の仲間とともに、様々な大会に挑み、自分自身の可能性を伸ばそうと努力している様子を伺うことができ、とても嬉しく思っています。 You can do it !! Best Wishes!!

第77回福岡県中学生陸上競技大会 7月27日(日)～28日(月) 博多の森陸上競技場にて
110mハードル 3年 さん、100m 3年 さん

第73回福岡県中学校相撲大会 7月31日(木) 築上町相撲場にて
個人戦 ベスト8 3年 さん

第36回全国都道府県中学生相撲選手権大会 8月3日 大阪府堺市大浜公園相撲場にて
軽量級個人戦 ベスト16 3年 さん

マルハン大倉カップ第51回全日本選手権大会 東京江戸川区野球場 ベスト4
筑後リバーズ(ジュニア硬式野球) 2年 さん、2年 さん

日向ひよっこ夏祭り 8月2日(土) 宮崎県日向市にて
ひよっこ大賞(団体戦優勝) ひよっこ踊りちっご愛好会 2年 さん

八女市中学生平和学習事業 8月5日(火)～6日(水) 広島市 2年 さん
福岡県中学生イングリッシュキャンプ 8月18日(月)～21日(木) ハウステンボス 3年 さん



THANK YOU

7月22日(火)～24日(木)、夏休み学習会を開催した際、卒業生や地域の方々にボランティアティーチャーとして協力いただきました。一人一人に丁寧に関わっていただき、心から感謝申し上げます。

THANK YOU

- さん(福島高3年) ・ さん(西短附高2年)
- さん(八女農3年) ・ さん(八女農3年)
- さん(八女農1年) ・ さん(八女農1年)
- さん(祐誠高2年) ・ さん(祐誠高2年)
- さん(八女学院2年) ・ さん(八女工高1年)
- さん ・ さん ・ さん



8月6日(火)出校日 平和学習



今年 2025 年は、戦後80年であり、ヒロシマ・ナガサキの原爆投下から80年の節目の年です。8月6日(火)、広島での「平和記念式典」と同じ時に、出校し、発達段階に応じた「平和学習」を各学年で行いました。この日、ノルウェーの首都オスロでは、ノーベル平和賞を受賞した日本被団協＝日本原水爆被害者団体協議会の功績をたたえる催しも開かれました。

世界では、今もどこかで戦争が起きています。戦争により大切な人を失い、生きることに絶望している人々がたくさんいます。「広島平和記念式典」での子ども代表による『平和への誓い』に表現されていたように、どんなに時が流れても、戦争の悲劇を風化させず、自分のこととして考え、平和について関心をもつこと。多様性を認め、相手のことを理解しようとする。一人一人が相手の考えに寄り添い、思いやりの心で話し合うことができれば、傷つき、悲しい思いをする人がいなくなるはず。周りの人たちのために、ほんの少し行動することがいずれ世界の平和につながるのではないのでしょうか。

1年	めあて「平和の火について知り、平和について考えよう」 山本達雄さんの動画や「原爆の火」の本から、平和の尊さを考える。
2年	めあて「風船爆弾を通して、平和について考えよう」 八女和紙で作った風船爆弾のことを知り、平和の尊さを考える。
3年	めあて「身近に残る戦争の跡(戦争遺跡)について知ろう」 八女市岡山飛行場について知り、平和の尊さを考える。

【生徒の感想より】

- ・ 山本さんは、おじさんのことをとても大切に思っていたことがよく伝わってきた。今、平和な暮らしができていたことが、どんなに大切なのかがわかった。これから、二度と戦争をしないためにも、しっかり自分で考え、行動に移していきたい。また、平和の大切さについてもしっかり伝えていきたい。(1の2 さん)
- ・ 小学1年生のときからずっと出校日の8月6日には「平和学習」を受けてきたから、もうわかりきっていることだと思っていたけれど、実際に平和学習をやってみると、当たり前が当たり前ではないことを毎年毎年学ばせていただき、ありがたいなと思います。今、日本は平和だけど、戦争があっている国もあるから、みんな「平和」という意味を一人一人が理解することが大切だと思いました。(2の2 さん)
- ・ 八女市の西短付近にパイロットを養成する施設があったのを初めて知って、とても驚いた。関係ない人々もたくさん巻き込んでいたことも知りました。僕は、この戦争で起きたことを決して忘れず、いろいろな人に伝えていきたいです。特攻隊の人たちは自ら命を落としに行っていたので、誰かのために尽くすこともいいとは思いますが、まずは自分の命を大切にしたいです。(3の1 さん)
- ・ 今、いろいろな所で戦争が起きているからこそ、自分から戦争について調べたり、記念館に行ったりして、考えていくことが必要だと思ったし、戦争をなくすために、他人事と考えずに自分たちが声をあげていくことが大切だと思った。自分が今、楽しく、平和に過ごせていることに感謝して生きていこうと思うし、平和な世の中にするために、これからたくさん学び、悪いことは悪いと言えるようにしたいと思った。(3の1 さん)
- ・ 人々の便利のために作った養成施設が、人々の命を奪うための養成施設になってしまっていたことがわかった。特攻を自ら望んだ人なんていなかったらうし、まだまだ未来がある若い命が、人の命を奪うために散っていくなんてあってはならないことだと思った。私たちは、若くしてなくなった方々のためにも、このような過ちを二度とくり返さないように、戦争の恐ろしさ、平和の尊さをいろいろな人に伝えていかなければならないと思った。(3の2 さん)

★八女市平和祈念式典(8月6日 星野村平和の広場にて開催)へ千羽鶴を届ける ★「平和の塔」から世界の恒久平和を願う「平和の火」をわけてもらう

生徒会役員を中心に、全校生徒で手掛けた「平和を祈る千羽鶴」を7月23日(水)、生徒会役員代表4名で八女市役所総務課へ届けました。八女市内の公立小中学校・義務教育学校から届けられた千羽鶴は、「八女市平和祈念式典」で、平和を願う一人一人の思いとともに手向けられました。

また、8月6日の平和学習における教材にするために、生徒会役員代表3名が前日5日にランタンを持って、星野村まで「平和の火」をもらいに行きました。平和の塔の「原爆の火」は広島で被爆された山本達雄さんが、叔父さんの遺骨の代わりに持ち帰られたものです。

8月6日の出校日、わけていただいた「原爆の火」が昇降口でみんなの登校を心待ちにしていたかのように、温かく灯っていました。

